

臨床検査科から説明!



臨床検査科  
生理学主任  
橋本規雅  
はしもとののまさ

## 膠原病の検査

患者さまの病歴や症状・身体所見より膠原病を疑うときは、スクリーニングとして基本的検査を行い、疑われる疾患の絞り込みを行います。

基本的検査では炎症反応の亢進、自己免疫に由来する免疫異常や臓器病変に基づく検査異常の有無をスクリーニングします。炎症反応の指標として、血液検査ではCRP (C反応性蛋白)、赤血球沈降速度などがあります。臓器障害のスクリーニング検査としては、蛋白・脂質・酵素・電解質などを調べる生化学検査、貧血や血液細胞(赤血球や白血球、血小板)の数や形態などを調べる血球算定検査、止血・出血傾向を調べる凝固系検査などがあります。また尿検査やX線撮影なども行われます。膠原病を疑う免疫異常の検査には、自分自身を攻撃してしまう抗体(自己抗体)の有無を調べたり、血清補体価といった検査があります。

自己抗体の種類は様々で膠原病関連の自己抗体検査は、リウマトイド因子や抗核抗体、抗好中球細胞質抗体などがあります。抗核抗体は様々な膠原病で陽性となることが多く、スクリーニングとして用いられます。リウマトイド因子も関節リウマチによく見られますが、その他の膠原病でも陽性となる場合があります。

当院で実施している抗核抗体検査は間接蛍光抗体法という検査法にて実施しています。間接蛍光抗体法では蛍光顕微鏡を用い染色パターンを観察します。代表的な染色パターンは均質型(Homogeneous型)、辺縁型(Peripheral型)、斑

紋型(Speckled型)、核小体型(Nucleolar型)、セントロメア型(Discrete-Speckled型)の5つに分類されます【図1】。陽性となった染色パターンによっては関連する疾患や自己抗体の種類が推測でき、確定診断のための検査として疾患特異的な自己抗体の検索や、臓器障害の検査、病理学的検査なども実施されることがあります。

治療後の経過観察においても先述の検査と同様に、炎症反応や免疫異常、臓器障害の有無や程度を評価していきます。

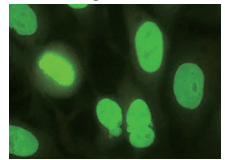
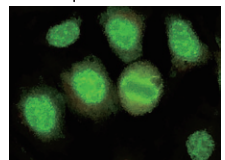
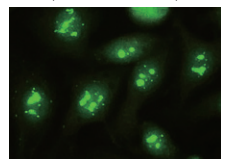
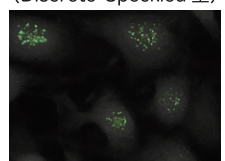
染色パターン	特異抗体	代表的疾患
均質型 (Homogeneous型) 	抗DNA抗体 (ss,ds)	全身性エリテマトーデス
斑紋型 (Speckled型) 	抗RNP抗体、 抗Sm抗体、 抗SS-A抗体、 抗SS-B抗体、 抗Scl-70抗体	混合結合組織病、 強皮症、シェーグレン症候群、 全身性エリテマトーデス
核小体型 (Nucleolar型) 	抗U3RNP抗体、 抗RNAポリメラーゼ抗体	強皮症
セントロメア型 (Discrete-Speckled型) 	抗セントロメア抗体	強皮症、原発性胆汁性肝硬変

図1 抗核抗体染色パターンと関連検査および疾患

# くす通信

第259号  
2022年9月1日

国立病院機構熊本医療センター 発行

総合診療科より

## 膠原病について

臨床検査科より

## 膠原病の検査



9月

### 「くす(樟)」の由来について

くす(樟)は常緑の広葉樹で、熊本城内に多く見られます。種々の精油成分を含み、良い香りがします。樟脳をはじめ色々な薬用成分が抽出されるなど有用な薬用樹でもあります。また、くすし(薬師)とは、医師のことを指し、くすしぶみ(薬師書)は医術に関する書物のことを言います。本誌はこの「くす」にあやかり、健康な生活を送るために情報を提供しております。お気軽にお読み下さい。



## 膠原病について

総合診療科部長  
総合診療センター長  
辻 隆宏



### 膠原病とはどういう病気ですか？

膠原病とは、「心臓病」や「腎臓病」と同じように、複数の病気が集まったグループを表す言葉です。皮膚や内臓の結合組織や血管に炎症を起こし、さまざまな臓器に炎症を起こす病気の総称です。

### 膠原病ではどのような症状がでますか？

全身症状（発熱、倦怠感、関節痛、筋肉痛など）と内臓症状があります。内臓症状は、膠原病の種類によって異なります。

### 膠原病の原因は何ですか？ どのような治療がありますか？

自分自身の組織（関節、筋肉、皮膚など）を攻撃してしまう抗体（自己抗体）がなんらかの原因で産生されてしまい、その反応（自己免疫）により、組織の障害がおこるとされています。そのため、膠原病は、自己免疫疾患とも呼ばれます。

膠原病の治療には、病気を引き起こすリンパ球の働きを低下させたり、自己抗体が作られるのを抑えるために副腎皮質ホルモン（ステロイド）や免疫抑制薬が用いられます。

### 膠原病にはどのような病気がありますか？

全身性エリテマトーデス、リウマチ熱、強皮症、皮膚筋炎および多発性筋炎、結節性多発性動脈周囲

炎、関節リウマチの6疾患は古典的膠原病と呼ばれています。現在ではこれらの疾患に加えて、シェーグレン症候群、混合性結合組織病、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、リウマチ性多発筋痛症、好酸球性筋膜炎、成人スティル病、強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、再発性多発軟骨炎、ベーチェット病、サルコイドーシスなども含まれます。

### 膠原病はリウマチですか？

リウマチ性疾患は、関節・筋肉・骨などの痛みを伴う病気の総称です。膠原病では関節の痛みが高頻度に見られることから、ほとんどはリウマチ性疾患です。ちなみに、単に「リウマチ」という場合は、関節リウマチをさすことがほとんどです。

膠原病は、多くの臓器に関わる慢性疾患ですが、最近では治療法が進歩しており、適切な治療を受けることにより、症状の改善が望めます。当院の総合診療科では、発熱、痛みの原因精査で膠原病の診断に至る場合があります。病態ならびに患者さまの希望に応じて、当科での診療継続や他院の膠原病内科への紹介を行っております。



## 総合診療科の紹介

### 特色

診療科の特定できない患者さまの診療を行っています。専門にとらわれることなく総合的な見地からの的確な診断と治療を行い、専門治療が必要な場合はそれぞれの診療科へ紹介し、また場合によっては共同で診療しています。不明熱、全身倦怠、原因不明の体重減少などの症状、または複数の症状があり診療科を特定できない場合などが対象となります。

### 症例数・治療

令和3年度の新規外来患者数は618名でした。主な内訳は、膠原病119名、感染症81名、悪性腫瘍43名でした。入院患者数（延べ人数）は、227名で膠原病47名、感染症107名でした。発熱、痛みを主訴とする患者さまの紹介が多いのが特徴です。

## 国立病院機構熊本医療センター

- 診察日 月曜日～金曜日
- 休診日 土・日曜日及び祝日  
年末年始（12月29日～翌年1月3日）
- 受付時間 8：15～11：00  
〒860-0008 熊本市中央区二の丸1-5  
TEL 096(353)6501(代表)  
FAX 096(325)2519  
H P <https://kumamoto.hosp.go.jp/>

※ 形成外科のみ受付は、水曜日以外の13:30～16:30となります。

※ 一部の科では、午後に予約診療を行っていますが、新患、予約のない方の午後診療は行っておりません。急患はいつでも受診できます。